

の備え) 災害から身を守るためには、ご近所どうしの助け合いが大きな力となります

震に備えて、生活の場ごとに、どのような災害が起きそうか考えておきましょう。

常持ち出し品の準備や家具の固定をしておきましょう。建物の損壊が心配なときは、耐震診断や補強について市役所に

よう。
近所の人々と避難場所や避難経路を確認し、地震がきた時にどうしたらよいか話し合っておきましょう。

が来たら)

い地震であっても、大きな地震の前触れ(前震)のことがあります。念のため、火を消す、逃げ口を確保する、丈夫な机の

すなどの地震に備えた処置をしましょう。また、テレビやラジオの地震情報で、どんな地震か確認することが大切です。

岸に近いところでは、地震が起きたら、津波に備えて、先ず、安全な高いところに逃げましょう。



平野や

川沿いの低地

どんな危険が ...

・大きな揺れで、家屋が被害を受けたり、ブロック塀が倒れたりしやすい

です

・液状化で、地面や敷地が凸凹になったり沈下したりするかもしれません

・海岸付近では、津波の恐れがあります

日常の心構え

・地震に備えて、自宅でできる万全の準備をしておきましょう

・ブロック塀の倒壊や屋根瓦の落下を考えて、通勤・通学路や避難経路を話し合っておきましょう

どんな危険が ...

土と盛土では、揺れかたに違いがでます

盛り境界や、盛土のところは、地割れや沈下がおきやすく、地下水が

いところでは、激しい揺れで崩れることもあります

日常の心構え

地ができる前の地形を調べて、心構えをしておきましょう

ブロック塀の倒壊や屋根瓦の落下のほか、高い盛土の上・下は特に注

意を、通勤・通学路や避難経路を話し合っておきましょう



丘陵や山間の
造成団地

(「造成団地」と呼ばれるところなど)



山地や丘陵地
のがけ

(北上山地や山形県境の山地など)

どんな危険が ...

・落石やがけ崩れが起きる恐れがあります

日常の心構え

・普段から、がけの下に石が落ちているところや、少しずつ崩れているところ

要注意です。注意してみてください

・また、岩でできたがけで、土砂が乗っているところは、土砂が落ちやすいの

注意しましょう
・急傾斜地崩壊危険区域、地すべり防止区域、土石流危険渓流など、土砂災害

の危険性があるために指定された地区の中は、できるだけ通勤・通学路や避難

経路にしないよう話し合っておきましょう

どんな危険が ...

くから市街が開け、比較的災害の少ない地域です

レのガラスや壁の落下、ブロック塀の倒壊、屋根瓦の落下などの都市特

の災害に注意しましょう

い地震で車の運転が不安定になることがあります。すぐに路肩に停車し

よう

日常の心構え
わてて危険な目にあわないために、勤め先や近所の人と、地震時の行

について話し合っておきましょう



台地や扇状地

(仙台旧市街など)

への備えについては、仙台市防災情報のホームページ